

【円建て】米国セキュリティベンチャー事業者ファンド全号

運用状況のご報告

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。本ファンドシリーズについて直近の状況をご報告申し上げます。

【本通知の要約】

- 貸付先グループ（後述）は営業を続けていますが、深刻な運転資金不足に直面し、経営破綻の可能性がります。
- 貸付先グループは本ファンドシリーズに関して 2023年9月に円貨換算で約14百万円を返済し、残りの未返済額は約14百万円です。

【出資対象事業の概要】

本ファンドシリーズでは、クラウドクレジット・ファンディング合同会社がクラウドクレジット株式会社のエストニア子会社である Crowdfund Estonia OÜ（以下「エストニアグループ会社」といいます）に対して貸付けを行いました。そのうえで、エストニアグループ会社はこの借入金を原資として、イギリス領ヴァージン諸島に籍を置く CPD Limited（以下「CPD社」といいます）へ貸付けを行いました。CPD社への貸付けに対しては、CPD社の100%親会社で、アメリカ合衆国でセキュリティ事業を行う CAPTIS INTELLIGENCE INC.（以下「Captis社」といいます）が債務保証を行いました。以下では、CPD社と Captis社を合わせて、「貸付先グループ」といいます。

貸付先グループの Captis社は、独自に構築した犯罪者の顔写真データベースを商品として取り扱うベンチャー企業です。米国の法執行機関（FBI、米国沿岸警備隊、米国財務省、州警察、市警察など）がそれぞれに保有する犯罪者の顔写真を統合して独自のデータベースを構築し、セキュリティ企業や防犯カメラ製造企業、防犯カメラのシステム管理企業、小売店舗などに納入しています。Captis社のデータベースは顔認証機能付きの防犯カメラと連結され、万引きや強盗といった犯罪の防止および検挙に役立てられます。

【前回報告書から現在までの状況】

2023年9月29日付「【円建て】米国セキュリティベンチャー事業者ファンド全号 運用状況のご報告」¹でのご報告以降、現在までの状況は以下の通りです。特に経営悪化が深刻で、破綻の可能性が見えています。

<貸付先グループの経営状況>

貸付先グループは、2023年9月のエストニアグループ会社への返済以降、従業員給与やサービスベンダー料金等の支払いを行えておらず、資金ひっ迫の度合いが強まっています。今後60日から90日にわたって状況が好転しない場合、経営陣は米国破産法第11条の申請を経て民事再生手続きに入る可能性を明言しました。その前に債務者グループが残債を返済するよう、エストニアグループ会社は要請を続けます。

<債権放棄を前提とした条件見直し後の回収>

エストニアグループ会社は貸付先グループと約28百万円の債権を残してそれ以外を放棄することで合意し、2023年9月20日に左記金額の半額相当にあたる約14百万円を回収しました。しかし、債務者グループは残りの返済原資を準備できていません。エストニアグループ会社は2つの返済原資を念頭において債務者グループの債務履行を求めています：

- ① 貸付先グループが既存顧客に対して持つデータベース利用料の売掛金
貸付先グループの既存顧客として米国のドラッグストアチェーン2社があり、売掛金の総額が約9万ドルあります。この売掛金が支払われ次第、エストニアグループ会社への返済に充てられる予定です。
- ② 貸付先グループCEOが個人所有する不動産を担保とした金融機関からの借入
貸付先グループCEOが自宅不動産を担保に米国内の銀行からの借入を行うべく、申請中です。

<データベースの納入状況>

2022年10月、貸付先グループはセキュリティ事業者IM社と、IM社の顧客にデータベースを提供する大口の契約を結びました。しかし、売上げが生じる段階に至っていません。

【返済見通しおよび今後の対応】

エストニアグループ会社は貸付先グループの残債 約14百万円を回収するよう努めてまいります。

本ファンドシリーズにおいて報告すべき事象が起きた際には、速やかに投資家の皆様に報告いたします。今後とも当社業務に対するご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

¹ https://platform.crowdcredit.jp/img/blog/upload/upload_1674016059.pdf

会社概要（クラウドクレジット・ファンディング合同会社）

【代表社員】 クラウドクレジット株式会社

【設立年月】 2016年3月

【資本金】 1,000,000円

【住所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目8番1号